

TOKYOINK NEWS

No.31

東京インキニュース
2015.11

当社の製品群は「安心・安全」「防災・減災・復旧」「環境・エコ」をコンセプトに開発を推進しています。

代理店通信 17  秋田県

今回はテラセルの販売にご協力頂いている、「株式会社ホクエツ秋田」様からのご意見やご感想を紹介します。



コンクリート製品 (L型擁壁) と テラセルマットレス工法の共存 軟弱地盤上に施工する構造物の地盤補強工法

株式会社ホクエツ秋田 県南営業所 近 一也

当社は東北、関東、信越、北陸と展開するホクエツグループ7社のうちの一社であり、以前にも東京インキニュースに掲載されました(株)ホクエツ北陸との同系列会社でもあります。

(株)ホクエツ秋田としては昭和33年、前身のホクエツヒューム管(株)大曲工場を設立以来コンクリート二次製品一筋に60年余り地元根ざした営業活動をおこなっており、現在は秋田県内に2営業所、3工場を有し、県内一円にコンクリート2次製品の製造・販売をおこなっております。

私の所属している県南営業所の営業活動地域は、日本一とも言われる大曲の花火・横手のかまくらで有名な秋田県の県南部の田園地帯です。数年前に、東京インキ様よりテラセル工法の講習会を当社にて開催してもらい、碎石の置換えやセメント改良に変わる新工法を知り、テラセルマットレス工法を中心に当社のL型擁壁やボックスカルバートとの組み合わせで営業展開をしてきました。今回は地元の設計会社より、羽後町の拠点施設を田んぼに盛土して建設する計画の中で、土留めとしてL型擁壁を設置したいが、地盤反力が足りず、何か良い方法を提案して貰いたいと相談を受けたのがきっかけで、テラセルマットレス工法を紹介しました。

東京インキ(株)仙台営業所の太田さんの協力を得て、設計提案をおこない、当社のL型擁壁とともに受注することが出来ました。

施工会社からは、施工が非常に簡単で残土を減らすことも出来たとの高評価でありました。施工指導に1度来て頂きましたが、後は施工業者さんに進めてもらい問題なく施工は無事完了しました。

今回は、コンクリート製品+テラセルマットレス工法で施工しましたが、その他にも共存出来る可能性を模索し、色々な場面でテラセル工法を活用出来ればと考えます。

その為には、今以上に東京インキ様とさらなる連携・強化を図りインフラ社会に貢献して行きたいと考えます。



株式会社ホクエツ秋田の皆様



■ 施工概要

発注先：秋田県羽後町役場企画課
 工事名：総合交流拠点施設外構工事
 施工会社：株式会社柴田組
 施工規模：L型擁壁 H2250
 80mの基礎の置換え
 テラセル 15OSP型
 (マットレス工法) 約385㎡



軟弱地盤における新しい基礎対策工 「ジオセルマットレス工法」

ジオセルマットレス工法

東京インキ株式会社 福岡支店 大林 和也 (熊本県玉名市 出身)

2009年にNETIS登録された「テラセル擁壁工法」から6年が経過し、日本各地の公共工事や民間工事においてジオセル工法は様々な場面で活躍しています。今回は、擁壁工、法面保護工に次ぐ用途である、構造物基礎工法の「ジオセルマットレス工法」をご紹介します。

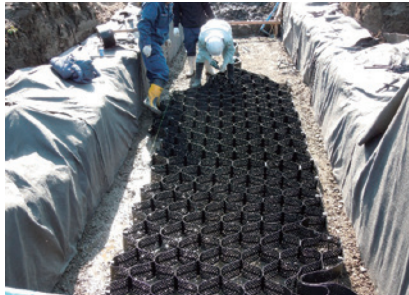
「ジオセルマットレス工法」は軟弱な地盤上に構造物を構築する際、基層部にハニカム構造のジオセルを設置し、その中に碎石を充填する事で、構造物の荷重を広く分散し、中詰材を拘束する効果によりせん断抵抗を発揮し、地盤支持力の改善や不同沈下の抑制が期待できる地盤補強工法です。



1 掘削・床付け



2 吸出し防止材の敷設



3 ジオセルの設置



4 中詰材(碎石)の充填



5 中詰材の敷均し・転圧



6 転圧完了



7 吸出し防止材を折り返し、施工完了

従来の基礎対策工では、支持層の状況により置換工法の様掘削範囲(幅や深さ)が広がることや施工ヤードの確保が必要になります。あるいは境界条件により置換必要幅の確保が困難になる事があります。また、軟弱地盤上に60kg越のコンクリートブロックを敷き詰めて鉄筋で補強することや大型の重機で改良することは時間と手間を要する問題点もあります。

その点ジオセルマットレス工法は、まず吸出防止材を敷設後、ジオセルを展開し、中詰材の充填・転圧をくり返します。その作業により設計計算で算出した厚さまで積層し、最後に吸出防止材を巻き込んで施工完了という簡単な作業です。材料も非常に軽量で且つ特殊作業を必要としないため施工性と経済性に優れ工期短縮も可能な工法です。今後も擁壁工や法面保護工で培ったノウハウを生かし、構造物基礎工法分野でもいっそう信頼と実績を得てジオセル工法の更なる普及・拡販を目指します。



東京インキ株式会社
TOKYO PRINTING INK MFG. CO., LTD.
<http://www.tokyoink.co.jp>

本社	〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4	TEL.03-5902-7627
生産技術部	〒114-0002 東京都北区王子 1-12-4	TEL.03-5902-7628
札幌営業所	〒065-0020 札幌市東区北二十条東 18-2-1	TEL.011-784-7772
仙台営業所	〒980-0801 仙台市青葉区木町通 2-1-18	TEL.022-274-3531
新潟営業所	〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-25	TEL.025-245-3141
名古屋支店	〒452-0813 名古屋市西区赤城町 112	TEL.052-503-3721
大阪支店	〒543-0013 大阪市天王寺区玉造本町 1-28	TEL.06-6761-0077
広島営業所	〒738-0023 広島県廿日市市下平良 1-5-13	TEL.0829-34-4100
福岡支店	〒816-0912 福岡県大野城市御笠川 3-13-5	TEL.092-503-8979